広報まき

題字・河治忠

1966年6月10日
第7号
発行　新潟県巻町役場
電話代表(2)3131
編集　企画調査課

住民登録人口
（昭和41年5月31日現在）

総人口	27,593人
男	13,190人
女	14,403人
世帯数	5,836

越後七浦海岸
角田浜　浦浜　越前浜
準備整った三海水浴場

角田浜、浦浜、越前浜海岸は、昭和二十五年国定公園の指定とともに、観光地（海水浴場）として、脚光を浴び県内はもとより全国に知られるようになりました。また弥彦、角田の山なみの背後に秘められた景勝地である七つ浦、越前浜、角田浜、五箇浜、角海浜、間瀬、野積、寺泊海岸が、木県の代表的な海岸、自然公園として、昨年七月〝越後七浦〟と命名され、名実ともに観光地に発展しております。

曝流に洗われる海岸線には、いち早く夏を告げる岩百合の花が咲き、地元では海水浴シーズンに備えて、浜茶屋の建設にとりかかっております。六月二十五日の海開らきは、三海水浴場とも浜茶屋、季節旅館数十軒が建ち並び、夏のパラダイスに変り、海水浴客からも満足していただけると思います。

角田峠切り下げ
観光道路新設

海水浴シーズンになると連日、数十台のバス、自家用車がつながり、ものすごい交通量となります。この対策について、道路の整備をおこなっておりますが、一きょに解決することは財政的にもなかなかできません。

交通の難所といわれる竹野町区間は、部落の東側にバイパス線が決定し、八月末完成を目指し工事が始まりました。今シーズンは間に合わないにしても来年から交通の混雑も解消されます。

また、角田峠を切り下げ、幅員七米、延長八百米の新しい観光道路が完成しました。観光道路はゆるやかなカーブとなり見通しもよくなりました。旧道と新道を二車線使用できるので、交通の緩和に役立つものと思います。

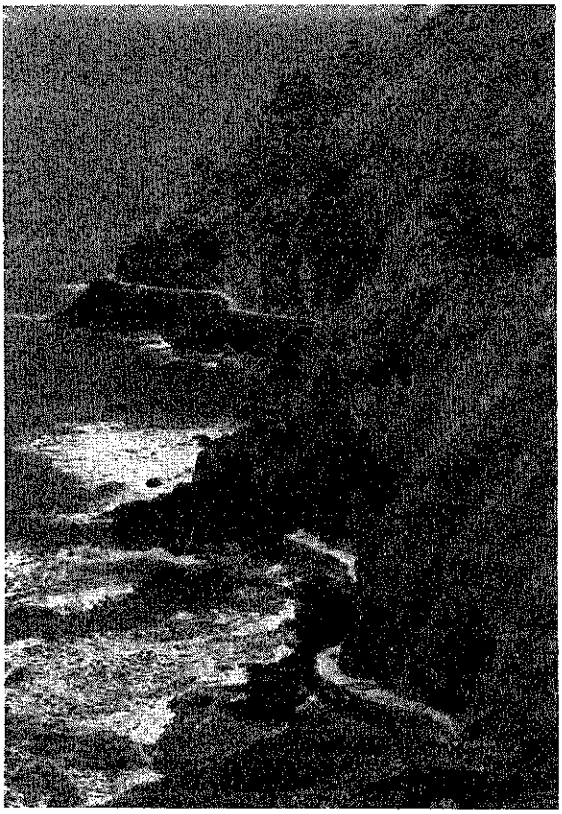
展望休けい舎建設
日帰り休暇村の施設

巻町の海岸地域は現在まで一季型、いわゆる夏場だけの観光地として、海水浴客を対象にしているため、非常に期間が短かいのであります。

最近余暇の増大に伴って、ハイキングなどにでかける人が多くなりました。本町は新産業都市のレクリエーションエリアとして、重要な位置になることが考えられます。そこで町では一季型から多季型観光地化にするため、県観光課と協議した結果、角田岬を拠点に、日帰休暇村を建設することになりました。

日帰休暇村の構想は、ビクニック園地、子供の遊園地、運動場、野営場、ブール、展望休けい舎などいろいろな施設を作り、保険休養、娯楽の場として、一日楽しんで日帰りできるところです。

ことしは日帰休暇村施設の一つとして、展望休けい舎（鉄筋建築四十平方米）を工費四百八万円、県営事業で建設がおこなわれます。これと合せて遊歩道路の舗装、海岸道路の建設も進めています。昨年とはめん目を一新した姿でみなさんのいこいの場として好評いただけると思います。



角田浜から小浜まで遊歩道路の舗装も完成（九区　本間勝夫さん撮影）

巻第2保育園できる
位置堀山地内に決定

巻地区に待望の町立巻第二保育園ができます。

現在町には認可の常設保育園として巻、越前浜、四ツ郷屋、松野尾、泰山、角田浜（私立）、竹野町（私立）の七カ所の保育園があり約五百名の乳幼児が保育を受けています。

毎年入園申し込み時期になると他の保育園は満パイ状態ですが町部の巻保育園には入園希望が定員の二倍くらい殺到します。厚生課では措置理由の優先順位にしたがい、約半分の希望者にしかご利用願えなかったわけです。

この入園難を緩和するため昭和四十一年度に七百七万円（国、県補助金百五万円、国民年金特別融資三百三十万円、起債二百万円、その他一般財源）の予算を計上。堀山地内に巻第二保育園を新築することになりました。

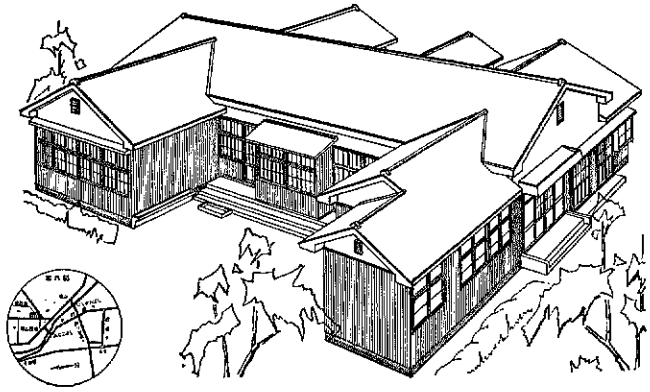
敷地面積千三百四十八平方メートル（四百八坪）、建物面積三百三十二平方メートル（百一坪）で木造平屋建です。

施設の内容は遊戯室、水飲場、乳児室、保育室、事務室、医務室、用務員室、調理室、便所、倉庫をかね備えた近代的なものです。

新築工事は七月下旬に着工し十月末日にはスマートの保育園がおめみえする予定です。

完成後の収容定員は九十名で、内訳は二才未満児九名、三才未満児九名、三才以上児七十二名が入園可能です。

いわゆる赤ちゃんと呼ばれる三才未満児が十八名入園することができ、乳児保育に重点が置かれているのが特色です。なお新保育園の園児募集は広報まきでお知らせします。



左の図は第二保育園完成予定図

舗装に備えて
水道管入替

町では道路の舗装工事に備えて、水道管を入替えするため、去る五月三十一日入札を行ない、敦井商店が工費七十九万円で工事をおこなうことに決まりました。工事する区間は次のとおりです。

一、駅前から四ツ谷通りまで延長百三十米
現在の鋼管百ミリを石綿管百二十五ミリに入替えます。
工事期間　六月二十日から二十四日まで。

二、警察署前
延長　七十八米
石綿管五十ミリを七十ミリに入替えます。

三、国保病院の東側
延長　十一米
鋼管八十ミリを布設します。
工事期間　六月二十六日から三十日まで。

商業
事業所　の国勢調査

事業所統計
町内の全事業所対象に事業の種類、従業者数などを調べます。7月5日までに調査員がお伺いします。

商業統計
町内で卸売、小売を営む全商店を対象に従業員数、販売額などを調べます。調査員が伺上し、調査票を渡し7月15日までにあつめに伺います。

事業所統計調査
総理府

商業統計調査
通産省

調査は絶対に秘密が守られますし、統計以外の目的には使われません。

歓迎された援農者

まじめ・ソツがないと好評

帰りは主人が駅まで送る

諸産業の発達により、農村から都市部への人口流出が大きな社会現象となっています。

このなかで農村の田植え労力確保はますます深刻さを増してきております。

これを解消するため農業安定所の取り計らいで柏崎、刈羽方面より田植え期のズレを利用した援農者五十七名が五月十八日巻町に到着しました。

巻農協で受入れ側と面識会をやり、巻地区十二世帯二十七名、漆山地区十二世帯三十名に組分けし五日間（十九日～二十三日）の就労につきました。

今回参加された援農者の生活設定は、平均耕作〇・八ヘクタールで、田植はさんろく地にあります。副業として酪農、養蚕もとりいれています。また農閑期の十一月から四月までの六ケ月間実施され、長野県など隣接近県に出稼ぎに行き生活をたてています。

このなかの一組十一区（巻町）福田幸平さん方の石塚邦利さん、石塚王さんの援農ぶりをカメラで追って見ました。

↑十八日午後、作業衣、下着類をつめこんだ旅行カバンを手に駅頭におりたつ。職業安定所、役場係員も出むかえる。柏崎方面より直接オートバイを乗りつけた四名の若者も合流する。

↑巻農協で受入れ側農家と面識会。昨年と同じ顔も見える。ニッコリする両者。すぐに名ざしをする農家もいる。事務局よりの連絡事項「日給900円3食付きで……」熱心に聞きいる。

→農繁期の農家の朝は早い。つめたい冷気が身心をひきしめる。1日の作業は朝食前の苗とりから始まる。

↑もっとも楽しいひとときである。すっかり家族に溶け込み和気あいあい。オカワリの手も遠慮なくでる。

↗漆山方面に行く30名はバスに乗り込む。明日からの仕事に意欲がうかがえる。

→家族と手なれた田植えで冗談もはずむ。石塚さんたちの田は五アール余。他の十アール余の広さにチョットうらやましそう。

↓かう援農者たち。

五月二十三日午後七時過ぎ、援農を終えたたちが、援農先の主人に送られ、そぞく駅に集ってくる。一段とましたしゃく銅色のどの顔にも責任を果した安どの感がただよっている。家族へのみやげを買い込み、荷物がふえている。

汽車待ちの四、五名の人に感想を聞いて見ました。

Aさん……働く時間は何時までと決められていたが時間のことは考えないで、家族と溶けこんで、家族の一員として働かしてもらった。来年もぜひお願いしたい。

Bさん……田んぼの取り扱いが組織に感じた。代かきはもっとていねいにする必要がある。

Cさん……こんなに広い耕地を持った潟原農業がうらやましいくらいです。たんぼに種をつける方法など帰ってとり入れるつもりです。

Dさん……岩塚村、潟東村巻町と行って見たが巻農協が一番良かった。田植えに行き偶然物知友と二十年ぶりに再会、うれしくて一晩寝ずで語り明しました。

援農受入れ側の福田幸平さんは「仕事はまじめでソツがない、お互に気がねないで良かった。こちらの希望した人員を確保していただければ来年もお願いしたい。」多少の問題点もあろうが農繁期における援農の利用などは、労働力調整に苦労する農家に福音をもたらしてくれるのではないでしょうか。

最近全国的に広域行政がやかましく唱えられ、県下の市町村でもその活発な動きが新聞紙上をにぎわしています。

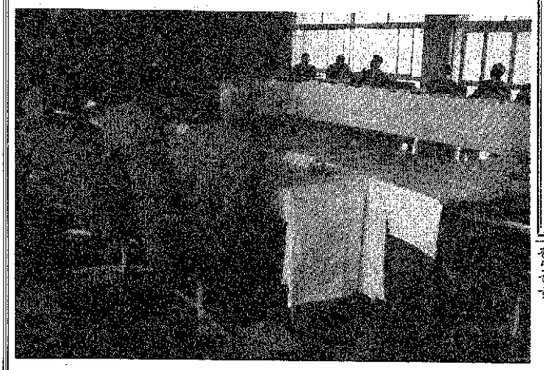
現在、どの市町村でも地域開発、広域行政を重要施策としてとりあげ、また人口の流出が激しくなるなど、今までにみられなかった大きな変動の波が押し寄せてきています。

町でも、前にお知らせしたように、鯉潟を中心とした広域行政の推進ととり組んでいますが、みなさんの中には「広域行政ってどういうことなんだ」と尋ねるかたも多いようです。

そこで今月は、この大事な〝明るく豊かな生活圏〟づくりを目ざす広域行政について、みなさんとよく考えてみたいと思います。

広域行政

みんなで考えよう



熱心に話合う潟東村と町のみなさん（さる5月14日開かれた懇談会）

地域社会の変動は急

町も積極的行政を

むかしは、東京の流行は何年か後に新潟市に入り、また何年後かに県下にひろまるという時間差があったものです。しかし、今ではテレビなどマスコミの影響や交通通信事情などの進歩で、その時間差は全くなくなってしまいました。

市町村のしごとにしてもそうです。

戸籍、諸証明といったきまりきった公証的な事務が主体でしたが、最近は幅広いしごとを扱うようになり、積極的に地域社会を振興するための行政をすすめるようになりました。

こんな状態のなかで、次のようなことがあります。

昨年実施された国勢調査の結果では、地方人口の大都市への流出、集中現象がはなはだしくなっていることがわかりました。

新潟県でも前回の調査から四万三千人が減っています。県下百十七市町村で増えたところは、新潟市のほか十市と中条町ほか六町村しかありません。

このような人口の移動状況からみても、かなりのスピードで地域社会のうつりかわりが行なわれていることがわかると思います。

従来は税金のとりたて、戸籍、諸証明といったきまりきった公証的な事務が主体でしたが、最近は幅広いしごとを扱うようになり、積極的に地域社会を振興するための行政をすすめるようになりました。

このような状態のなかで地域住民は、県市町村に対する公共施設整備の要請はむしろ後進地のほうが先進地より強くなってきています。

文教施設の整備、住宅の建設、上下水道、清掃施設、街路、公園など生活環境施設の充実、充実した社会保障のための老人ホーム、リハビリテーション施設などは非常にたくさんあります。

ところが、現在、後進市町村ではこれらの社会基盤施設の整備状況はたいへん貧弱です。

昭和三十九年に自治省が行なった社会基盤施設調査の報告によると中程度の都市で次のようになっています。

▽産業高校　八八・八%
▽中学校　九二・五%
▽小学校　八三・三%
▽保育所定員率（定員と〇才から五才までの人口数との比率）　七・三%
▽幼稚園定員率（定員と三才から五才までの人口数との比率）　二六・五%
▽市道の舗装率　五・九%
▽ごみ衛生処理率　三七・六%
▽上水道普及率六五・六%
▽人口一人当りの都市公園面積　二平方米
▽養老施設定員率一・〇%

比較的施設整備が進んでいると思われる都市でさえもこのような状況です。まして私たちのような町村では、なすべきしごとが山のようにあると思います。

強い公共施設の要望

町村施設は貧弱

経済界の不況などで税収は伸びなやみ、反面人件費の増加や遅れている行政水準をとりもどすためのいろんな経費が増加するというギャップによるのでしょう。そんな状態を中程度の都市の財政標準のうつりかわりでみてみましょう。

▽税収入、前年度対比　昭三六　一二・六%
▽人件費　昭三七　一五・五%
　昭三八　一六・五%
　昭三六　二三・二%
　昭三七　二二・二%
　昭三八　二〇・九%
▽建設事業費　昭三六　対前年度比　二六・七%
　昭三七　二六・九%
　昭三八　二六・五%
▽人件費　昭三六　対前年度比　二三・二%
　昭三七　二二・二%
　昭三八　二〇・九%
▽建設事業費　昭三六　対前年度比　二六・七%
　昭三七　二六・九%
　昭三八　二六・五%
▽保育所定員率　九・六%

人件費は毎年度同じように増えて行きますが、建設事業費は先細りの状態をしています。この財政状態は今後とも奇蹟的な好転は期待できないと思います。

しかし、一方では市町村のしごとは、ますます広げて行かねばなりません。

いわゆる圏としての行政を確立発展させなければならない時代にきたわけです。

市町村の区域を超える行政について基本となるのは市町村相互の協力関係でなければなりません。

税をほかの市町村のために使うかことに対しての不安、中心となる市町村に結果的に支配されることについての危惧にとらわれて古いままの孤立した社会に固執するならば、市町村は到底、時代の変動に即応し得ないようになります。

こんな状態を裏づけるものに、次のようなことがあります。

▽施設の整備状況はたいへん貧弱です。

昭和三十九年に自治省が行なった社会基盤施設調査の報告によると中程度の都市で次のようになっています。

▽産業高校　八八・八%
▽中学校　九二・五%
▽小学校　八三・三%
▽保育所定員率（定員と〇才から五才までの人口数との比率）　七・三%
▽幼稚園定員率（定員と三才から五才までの人口数との比率）　二六・五%
▽市道の舗装率　五・九%
▽ごみ衛生処理率　三七・六%
▽上水道普及率六五・六%
▽人口一人当りの都市公園面積　二平方米
▽養老施設定員率一・〇%

比較的施設整備が進んでいると思われる都市でさえもこのような状況です。まして私たちのような町村では、なすべきしごとが山のようにあると思います。

住民福祉の向上が目的

最近、私たちの生活圏はだんだん大きく広がってきました。

今まで生活圏の適当範囲は、二粁、あるいは五粁と言われていましたが近ごろでは十粁、二十粁が単位となってきたようです。

広域行政は、地方行政が近代化し、高度化すればするほど必要になってくると思います。

必ずしもそれぞれの町村が、単独に設けなくとも、やって行けるもの、そうしてつくるには多くの経費を必要とするもの、（たとえばごみ焼却場、火葬場、老人ホームなど）は共同して設置し、運営管理していくことができれば、経費を節約して、より住民の福祉を高め、行政の水準を引き上げて地域の発展と住民生活の向上を図って行くことが目的なのです。どうか十分ご理解のうえ、ご協力くださることをお願いいたします。

巻町長　河治忠

心細い台所

ところが、このようなしごとをするためのお金（市町村の財政）ということになると心細い状態のようです。国で調べたところによると、市町村の財政は昭和三十七年ころからそろそろ悪化し、その後もあまりおもわしくないようです。

のではありません。

繰り返し言いますが、経費を節約して、より住民の福祉を高め、行政の水準を引き上げて地域の発展と住民生活の向上を図って行くことが目的なのです。どうか十分ご理解のうえ、ご協力くださることをお願いいたします。

広域行政の必要性

生活圏の拡大化はすすむ

先のような事情に加えて、住民の福祉をより高めるために広域行政の必要性が生じてきたのです。

住民の意志によって、市町村の規模そのものを合理化しなければならないところもありましょうが、合併するならば、市町村は

不安だということを肌に感じたからです。

いままでは、国は自治体に対してあまり親切でない。三割自治といわれるように自主財源がない。

農業を主体とするような町村に国の強制的な農業振興策がない。人口が大都市へ流出して行く。など。

私たちの町のような弱小町村が、将来に不安をいだく要素は一杯あると思います。

〝広域行政〟はみなさんに考えていただきたい大問題です。むずかしい、本当になむずかしい問題なのです。

私はこう考える

農業の共同経営と同じ

安尻　農業　二四才

〝広域行政は良か、非か〟と言うことですが、正直のところ私は賛成です。各町村ともみんなそれぞれに予算、組織、規模、運営方法など違いはあるでしょうが、施設の共同化による経費の節約とか、あるいは事務処理の強率化などを考えますと、それに反対する理由はどこにも見当らないと思います。

私はこう思うのです。広域行政とは百姓の共同経営と全く同じだと言うことです。農機具を買うにも、より良い品物がより広く手に入り、しかも二台が一台で済むと言うこともありますと、ますます広げて行かねばなりません。

九・六%

広域化や施設の共同化大賛成ですが、これは町村合併が先決問題ではないでしょうか。

しかし、町村合併は中心になるところはよいでしょうが、遠くはなれた部落などは賛成しかねる部落になるでしょう。

広域行政は是か、非か。

広域行政も同じことだと思います。たとえば完全な道路整備とか、町民センターの設立など一町一村ではおぼつかない事業でも、一緒にやると言うことでできあがるかも知れません。

また先回の知事選にも盛んにうたわれていた「中央直結」と言うことを考えますと、やはり個々よりもと思うのです。

そう考えますと全く良いことばかりですが、広域行政も農業の共同経営もすぐにやれないのは、やはり人と人との感情の問題でしょうか。「いがみ合い」と言うことでなくうなんでしょうね。

共同の施設づくりを

十一区　主婦　四六才

しかし、町村合併は中央直結の欠点やレンタを指摘して反対だといいます。

私は構想として大変結構であり共鳴しますが、その実現はなかなかむずかしいと思いますので、よく検討してことを運んでもらいたいものです。

そして広域行政、即町村合併ではないでしょうか、一般的にそう解釈している点を解明して行く必要があるのではないでしょうか。

むずかしい問題

将来の不安解決のために

最近全国では「郡山市」や「いわき市」など、県下では中条地区や魚沼地区などは大きな成果をあげ、あるいはあげつつある。

ことに〝太陽と緑の空間〟のキャッチフレーズで四市町村で一大広域都市建設への歩みをはじめた福島県いわき市や郡山市では〝恋愛広域行政〟〝恋愛合併〟などの新語を生み、円満に進んでいます。

このことからその地域の住民の気もちのなかに、こんなことがあるのではないか、と考えました。

今こうしなければ将来は

よく検討のうえで

中郷屋　主婦四七才

広域行政は、住民の福祉向上に結びつく重要なことだと思いますが、

しかし、大部分の住民は広域行政、即合併問題と結びつけて、遠ざかる合併問題の欠点やレンタを指摘して反対だといいます。

私は構想として大変結構であり共鳴しますが、その実現はなかなむずかしいと思いますので、よく検討してことを運んでもらいたいものです。

そして広域行政、即町村合併ではないでしょうか、一般的にそう解釈している点を解明して行く必要があるのではないでしょうか。

と思われます。

大きな町、立派な施設はみんなが理想として希望していますが、なかなか大変だと思います。

せめて今のところ施設だけでも共同で存られたら大変結構なことだと思います。

赤痢、日本脳炎など
多くなる季節をむかえます。

赤痢の予防は手洗いから……
まず手を洗うことが第一です。そのほか、生水、生ものに注意しましょう。

日本脳炎は蚊の退治から……
蚊にさされないようにし、過労寝不足、暑い日は長時間日光にさらされないようにしましょう

今月の納税

町民税第1期

納期限は6月30日です。

日、米高校レスリング大会

六月二十五日　巻高校体育館で

日米両国高校生によるアマチュアレスリング大会が、来たる二十五日午後三時から巻高等学校体育館において行なわれることに決まりました。

この大会は毎年新潟市に開催されていたもので、全国高等学校体育連盟、日本アマチュアレスリング協会、新潟県教育委員会、巻町、巻町教育委員会が主催、新潟県高等学校体育連盟レスリング部、新潟県アマチュアレスリング協会が主管で行なわれます。

今回来日する米国選手団は、コロナド高等学校、オレゴン高等学校から選抜された選手八名と団長、コーチ、マネジャー、新聞記者合せて十二名来町する予定になっております。一方日本側は、新潟県高等学校チームで、団長、コーチ、マネジャー、選手合せて十六名で編成の予定です。

選手の中には巻農業高等学校の選手が六名エントリーされることになっています。巻農業高等学校はレスリング部ができてから国際的な優秀選手が多くでており、本大会に活躍が期待されます。

当日の入場料は、一般百五十円（前売券百二十円）学生百円（前売券八十円）団体三十名以上五十円となっております。

入場券は、丸幸運動具店、銀パリ理髪店、巻農業高等学校で取り扱っています。

無言の帰国

旧海軍将兵のお二人

終戦直前、香港島付近で戦死した旧海軍将兵約百五十人の遺骨が先日二十一年ぶりで帰国しました。この中に町の出身者お二人も含まれています。

このご遺骨は昭和二十年一月十六日から同年四月七日までの間に、連合軍の空襲を受け、香港島周辺で大破又は沈没した元日本海軍の特務艦「神威」「海防艦「満珠」輸送艦「象山丸」「天幸丸」「松島丸」の乗組員のご遺骨です。

当時は連日、連合軍の空襲を受け、艦を出すことを禁じられたため火葬もできず仮埋葬したまま放置されていたものを、先月十二日に英国の人たちの手で発掘、焼骨されたものです。

本町出身の戦没者のお名前は、竹野町大沢留太郎さんの弟の八郎さんと十区の西川猛さんのお父さんの正二さんです。

ご遺骨は七月下旬になつかしい故郷にかえる予定になっています。

竹小工事始まる

八月十五日竣工

竹野町小学校では稲島分校の統合によって、普通教室と理科教室各一が不足し新しく増築されることになっております。

町では、五月三十一日入札を行なった結果、水倉組が落札しました。

工費は二百九十五万円で六月一日から工事が始められ、八月十五日に立派な校舎が竣工することになっています。

入場券の半片を受けとりましょう

映画館などの入場料金に入場税がかかることは、皆様よく御承知のことと思います。映画館などの経営者は皆様方がお支払いになった、入場料金の中に含まれている入場税を一カ月分まとめて、翌月末日までに申告し、納付することになっています。

入場税は映画館などに入場の際、料金と引換えに渡される入場券の半片を受け取ることによって、正しく納税される仕組みになっております。入場の際必ず半券を受け取ってください。

では一体いくらの税金がかかっているのかと申しますと、入場料金の十パーセントが税率となっています。たとえば入場料金が二百五十円とした場合、約二十二円七十二銭が入場税となります。

また、映画館などの入場券には、国で作成したものと、映画館などにおいて作成し、国（税務署）が検印したものとがあります。

巻税務署管内の入場税額は、昭和三十九年度が三百三十九万円、昭和四十年度が三百八十七万三千円となっています。

〝入場券の半片を必ず受けとりましょう〟

（巻税務署）

国民年金の免除申請は六月三十日まで

国民年金加入者で収入が少い、災害にあった、医療費の支出が多いなどで保険料納入が困難な方は年金係にご相談ください。

六月三十日までに保険料の免除申請をされますと、昭和四十一年四月より、昭和四十二年三月までの一年間保険料が免除されます。

なお免除申請をしなかったと、納めないでおきますと、将来年金の給付を受ける時、さしつかえますのでご注意ください。

福祉年金（老齢、障害、母子）の所得状況届はお済みですか。仕事が忙しかったり、都合が悪くまだお済みになっていない方はありませんか。この届出をしなかったり、おくれたりしますと九月分からの年金がもらえません。いますぐ届出をしてください。（厚生課）

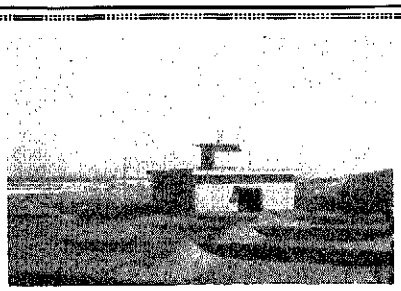
水路の上に物をおかないよう！

排水あるいは防火を兼ねた重要な水路が、樹の中を数本流れています。町では水路看守人が常時見廻って、管理に当っておりますが、これから雨期をむかえますと、排水の悪い箇所もでてくると思います。

水路の上に古材など置いたまま数カ月も放置されてあるのが見受けられます。水路上に物を置かれますと、作業することができません。水路上を利用している方は、なるべく早く物を取りのぞいてくださるようご協力をお願いします。

（建設課）

希望訪問



四ツ郷屋と越前浜の境界近くの浜辺に砂丘と松林に囲まれて、新潟無線方位信号所があります。

建物は白堊の鉄筋コンクリート造り。周囲にめぐらした砂防塀に波状の風紋が美しい景観を見せています。

ここには職員がだれもおりません。

機能は毎日定時に無線信号を出し、日本海、越佐海峡を航行する船舶に方位を知らせる働きをもっています。

この働きは灯台、航路標識と併わせて、海上を安全に航行させるために、欠かせないものです。

特に風雨が激しく、視界のきかない時などは威力を発揮し、方向探知器を備えた船なら二百浬の沖から信号をとらえることができます。

照明能力の高い粟島灯台、角田崎灯台でも気象条件のよいときで八十浬、平均四、五十浬の視界といわれてますから、受信装置さえ備えている船なら無線信号が一番確実な海の道しるべとなるわけです。

ほかに第九管区海上保安本部管内では酒田（山形）、鮫島（石川）が活躍しています。

お休みの日などに一度ご家族づれでいらっしゃいませんか。

あんがい知られていない

新潟無線方位信号所

お知らせ

にいがた県の窓

新潟(22)―0383

新潟県では県政広報広聴の一貫として県政照会専用電話〝にいがた県の窓〟を設置しました。

県行政に対する質問，苦情，要望などは新潟局22―0383文書広報課広報係にダイヤルを回しおたずねください。係が親切にお答えします。

永久選挙人名簿作成の一斉調査について

公職選挙法が改正になり，新しい永久選挙人名簿がつくられます。

現在の選挙人名簿は手続が複雑で，名簿もれや二重登録などがあるため，今回全国一斉に調査を行ない，永久選挙人名簿をつくることになったのです。新しい選挙人名簿はカード式で毎年３月と９月に登録，さらに職権による調査をもして未登録者を登録することになっています。

今回は**６月20日から29日まで**の間に，調査員が皆様の家庭を訪問いたしますから，落ちのないよう記入願います。

保母試験準備講習会の開催

保母試験準備講習会が次のように開かれます。

△受講資格　保母の資格を得ようとする者であれば年令，学歴には関係なく，どなたでも受講できます。

△受講期日　昭和41年７月23日から28日まで６日間

△場所　新潟市東中通り・新潟日報ホール

△受講申し込み　６月１日より７月15日迄

△くわしいことは，役場厚生課に問い合せください。

町長さんおたずねします

巻十一区　広木　初太郎

次の二点についてお伺いいたします。

一、私は勤めているので町民税は特別徴収で、給料から引かれています。そのほかの町税は、家へ納付書がきて別に納めるようになっていますが、すべての町税を特別徴収していただけないものでしょうか。

また日曜日でも役場へ持参したら受け取っていただければ、町民のみなさんも大変都合がよいのではないかと思います。

二、農業教育センターの見学、あるいは視察にくる人が相当あるのではないかと思います。ところが駅から二キロ以上もあるのに、バスも通っていないため、タクシーで行くか歩かなければなりません。今はどこへ行っても交通の便利がよくなっています。町でもバスを通すよう新潟交通に運動していただきたいと思います。

お答えします

一、納税について、ご理解とご協力をいただき大変感謝いたしております。ご質問の趣旨、よく了解できるのですが、残念ながら現在の地方税法上できないことになっております。

そこでほかの職場でもおやりになって、便利だと好評をいただいている納税準備預金の方法はいかがでしょうか。

これは納税準備預金として金融機関に積立て、金融機関の係が集金に行ったとき、納期のきたものについては納付書を渡して納入する方法です。お電話でもいただければ係が説明に参上いたします。ご検討ください。

二、ご質問については、私も痛切に感じております。現在、鎧潟が干陸されておりますが近く鎧潟を貫通して巻と潟東村を結ぶ幹線道路ができることになっております。また、鎧潟を中心にした広域行政を進めております。

カメラ・ニュース

◀待望の鎧潟干陸式

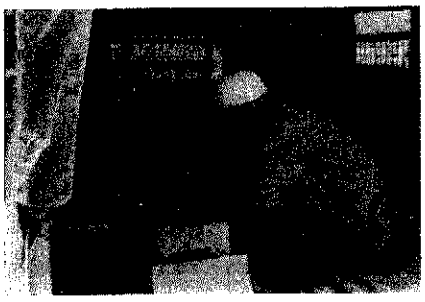
農林省北陸農政局鎧潟干拓事業所は、さる二日午前十時三十分から農業教育センター体育館において、農林大臣代理佐々木農地局参事官、北陸農政局長、亘知事、工事関係者他約三百人が出席して、干陸式が行なわれました。

鎧潟が国営干拓事業として十年計画で、工事が始められたのが昭和三十三年八月、いらい約八カ年の歳月を得てようやく最終段階をむかえました。地域農民にとっては長い間の夢が実現し、喜びも新たなものと思います。

春季消防演習▼

六月四日巻中グランドにおいて、巻町消防演習が行なわれました。篠沢副団長総指揮のもとに、団員のきびきびした訓練が披露され、町民の期待にこたえていました。

▶犬の放し飼いやめよう



巻保健所と役場衛生課は巻警察署の協力をえて、去る五月三十日に、放し飼い犬の取り締りと野犬捕獲を実施いたしました。

この結果捕獲犬十二頭、宋犬録四頭、警告処分十頭の戦果をあげました。

巻保健所では今後悪質なものに対しては告発すると言っております。

▲日赤救急車が配置

日赤西蒲原地区へ救急車一台が配置され、日赤巻町分院で運営管理することになりました。今回県下に七台配車されたうちの一台です。

一台八十八万円で、日赤が四十万円、残りの四十八万円を巻町が負担することになっています。

救急車は交通事故、災害があった場合出動いたします。電話一九番（巻消防署）へ通報してください。